老上中学校　　2022 年10月13日号

進路情報

文責　進路指導主事　前田政彦
☎　077-564-4394
HP　http://www.oikami-j.skc-edu.jp

～「卒業後の進路」を考え、その実現をめざす～

進路のページに
情報がいっぱい

三者懇談にむけて・・・　ご家庭で十分お話をしてください

高校進学を例にお話ししますがほかの進路も同じようにお考えください

本当に行きたい学校を選ぶ

～**親は子の気持ちをよく聞き、子は親の願いに耳を傾けながら**～

- 合格の可能性だけで決めない　→　「こんな学校とは思わなかった」＝**中途退学の原因**
- 「併願は受かるならどこでもいい」は**ダメ**　→　行くことを想定して決める
- 見栄をはったり外聞を気にしたりしない　→　**迷ったり選択を失敗する原因**
- 人のうわさに惑わされない　→　けっこう「**偏見**」や「**思いこみ**」、「**間違い**」が多い

☆決めたらあとは**迷わずがんばる**　→→　１２月の三者懇談は**受験方法・手続きの確認**☆

希望先のことをよく確認

～懇談でよく「かんちがい」が発覚します～

- 学校名、所在地は必須　→　できたら、**通い方・通学時間なども**親子で確認を
- **学科やコース名は間違ってませんか**　→　ここ数年で名称変更してる学校が多い

☆女子高から共学へ　☆全日制から通信制へ　☆●類から▲コースへ、しかも名前がおしゃれ？！

推薦が気になる方へ

推薦入試では「学力が高い」ことやスポーツ・文化芸術活動で「優れた結果を残していること」が必要です。ただ、それ以上に大切な推薦要件は、その高校への進学をどれだけ強く希望しているかということ。
推薦入試では面接を実施する場合がほとんどですが、**志望理由**は必ず聞かれます。
「推薦で合格しそうだからこの高校を選びました」なんてもってのほか。本末転倒でとても推薦できません。志望校のことを十分知ったうえで、どこに魅力があってそこに行きたいのかが言えること。そのうえで「自分の能力や特技をこの学校で伸ばしていきたい」というならなるほどと納得します。よく考えましょう。
なお、実際に推薦をするかどうかについては、このような志望の意思をしっかり確認したうえで、原則 12 月末の三者懇談時に話をさせていただきます。

体験入学から「入試相談会」に・・変化にお気づきですか

〇**県立高校**の体験入学はそろそろ終盤・・普通科はほぼ終了していきます。参加し忘れていませんか。

専門学科で同じ学校に複数の科があれば受検時に第２、第３希望での合格がありえます。
複数回体験に参加してさまざまな科を体験しましょう。

〇**私立高校**は「体験入学」「オープンキャンパス」から「入試相談会」へ・・これ、**大事です！！**

興味・関心・特性に合わせた学科・コースの相談、奨学金や授業料免除等の資格の有無
成績や実力テストの結果をもとに合否の可能性や受験方法、推薦基準やその適否
合格のための努力目標や学習ポイント、過去問題など

こんなことを個別に相談してくれます。もちろん併願でも OK。相談したうえで受験するかどうかも自由です。1，２年および１学期の成績と３年の実テの結果をもって相談してみましょう。